



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社 トラスト  
コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻本 正人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷中 一晴

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	15,648	15.4	1,161	26.7	1,086	23.0	324	2.4
30年3月期第3四半期	13,563	6.5	917	16.0	883	17.7	316	15.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 624百万円 (5.5%) 30年3月期第3四半期 591百万円 (17.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	12.54	
30年3月期第3四半期	12.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	28,602	9,379	23.0	254.76
30年3月期	29,756	8,859	21.6	248.01

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 6,592百万円 30年3月期 6,417百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		1.50		1.50	3.00
31年3月期		2.50			
31年3月期(予想)				1.50	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	8.7	1,400	6.2	1,300	3.4	500	13.1	19.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	28,150,000 株	30年3月期	28,150,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	2,273,100 株	30年3月期	2,273,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	25,876,900 株	30年3月期3Q	25,876,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績、雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しており、設備投資においても増加傾向にあります。しかしながら世界経済においては米中の貿易摩擦に端を発する世界経済の下振れリスクの増大等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高15,648百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益1,161百万円(前年同期比26.7%増)、経常利益1,086百万円(前年同期比23.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益324百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

#### ① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、資源価格の下落等の影響で輸出国の景気と需要が低迷し、外貨準備高不足により海外送金が困難な状況が続いておりましたが、徐々に回復してきております。また、当第3四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は102万台(前年同期比1.9%増)となりました。

このような状況のなか、メイン販売先であるアフリカ地域の輸出台数は徐々に回復し、また、アジア地域においてもB2B取引先との関係構築により輸出台数が増加しました。しかしながら、北中南米地域及びヨーロッパ地域への輸出台数が減少し、当社グループの輸出台数の合計は3,405台(前年同期比1.7%減)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高5,425百万円(前年同期比29.1%増)、営業利益124百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

#### ② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期において直営店の伊勢店(三重県)、名古屋駅スマートカウンター(愛知県)、FC店の長崎空港店(長崎県)、燕三条駅前店(新潟県)、熊本大江店(熊本県)、熊本空港店(熊本県)を新規出店し、直営店及びFC店の総店舗数は144店、総保有台数は18,124台(前年同期比11.8%増)となり、既存店、新規店において売上が増加しました。しかしながら、レンタル終了車輛の販売台数は1,046台(前年同期比21.0%減)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高7,855百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益1,119百万円(前年同期比39.0%増)となりました。

#### ③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、新政権への期待がある一方、経済そのものの足腰が極めて弱く景気が低迷しており、平成30年1-12月期の新車販売台数は55.2万台(前年同期比1.0%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でプジョー・シトロエンディーラー4店舗、スズキディーラー3店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の計8店舗を運営しており、新車販売台数は合計672台(前年同期比13.7%減)、中古車販売台数は合計875台(前年同期比2.0%減)となり、前年同期と比べて販売台数は減少しており、前期に出店した店舗のコスト増加もあり営業損失となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,542百万円(前年同期比1.9%減)、営業損失82百万円(前年同期営業損失18百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、15,178百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産764百万円が減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、13,424百万円となりました。これはリース資産(純額)が471百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、28,602百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、15,829百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が255百万円、リース債務が869百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18.1%減少し、3,394百万円となりました。これは長期借入金が359百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、9,379百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、新規店舗及び既存店舗の収益改善を継続的に行い、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、平成30年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	978,835	1,054,871
受取手形及び売掛金	1,574,542	1,974,637
リース債権及びリース投資資産	10,978,834	10,214,069
商品及び製品	1,963,686	1,485,473
仕掛品	3,673	6,802
原材料及び貯蔵品	24,346	25,069
その他	570,996	424,341
貸倒引当金	△6,151	△6,572
流動資産合計	16,088,763	15,178,694
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	6,084,858	5,613,410
土地	3,472,636	3,466,067
その他（純額）	3,208,327	3,431,746
有形固定資産合計	12,765,823	12,511,225
無形固定資産		
のれん	85,913	85,304
その他	59,889	53,590
無形固定資産合計	145,802	138,894
投資その他の資産		
その他	786,498	806,223
貸倒引当金	△30,350	△32,098
投資その他の資産合計	756,148	774,125
固定資産合計	13,667,774	13,424,244
資産合計	29,756,538	28,602,938
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,588	506,110
短期借入金	670,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	142,824	43,224
リース債務	13,906,536	13,037,179
未払法人税等	206,499	190,341
賞与引当金	86,412	52,394
その他	984,125	1,049,814
流動負債合計	16,757,987	15,829,064
固定負債		
長期借入金	395,909	36,402
リース債務	3,629,512	3,222,535
役員退職慰労引当金	7,334	7,362
資産除去債務	38,351	41,220
その他	68,443	86,587
固定負債合計	4,139,550	3,394,107
負債合計	20,897,537	19,223,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	4,521,135	4,742,017
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	6,426,726	6,647,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,253	10,818
為替換算調整勘定	△24,226	△66,044
その他の包括利益累計額合計	△8,972	△55,226
非支配株主持分	2,441,246	2,787,385
純資産合計	8,859,000	9,379,767
負債純資産合計	29,756,538	28,602,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	13,563,689	15,648,423
売上原価	10,042,916	11,624,344
売上総利益	3,520,773	4,024,079
販売費及び一般管理費	2,603,758	2,862,401
営業利益	917,014	1,161,677
営業外収益		
受取利息	7,498	7,516
受取配当金	6,032	3,400
為替差益	12,487	—
投資有価証券償還益	2,016	897
受取保険金	1,541	2,129
受取補償金	9,770	8,753
その他	8,431	6,505
営業外収益合計	47,778	29,203
営業外費用		
支払利息	80,971	75,777
為替差損	—	26,766
その他	523	1,817
営業外費用合計	81,494	104,362
経常利益	883,298	1,086,518
特別利益		
投資有価証券償還益	3,004	—
特別利益合計	3,004	—
特別損失		
固定資産除却損	225	1,506
固定資産撤去費用	128	2,495
特別損失合計	353	4,001
税金等調整前四半期純利益	885,949	1,082,517
法人税、住民税及び事業税	276,420	398,998
法人税等調整額	45,958	12,906
法人税等合計	322,379	411,905
四半期純利益	563,570	670,611
非支配株主に帰属する四半期純利益	246,706	346,222
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,863	324,389

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	563,570	670,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,350	△4,518
為替換算調整勘定	30,438	△41,818
その他の包括利益合計	28,087	△46,337
四半期包括利益	591,658	624,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	344,616	278,136
非支配株主に係る四半期包括利益	247,041	346,138

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,181,977	6,788,180	2,593,531	13,563,689	—	13,563,689
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,377	205,500	—	225,878	△225,878	—
計	4,202,355	6,993,680	2,593,531	13,789,568	△225,878	13,563,689
セグメント利益又は損失(△)	128,004	805,280	△18,278	915,006	2,008	917,014

(注) 1 セグメント利益の調整額2,008千円には、のれん償却額△5,016千円、棚卸資産の調整額6,425千円、その他の調整額600千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,400,322	7,705,129	2,542,971	15,648,423	—	15,648,423
セグメント間の 内部売上高又は振替高	25,449	149,953	—	175,403	△175,403	—
計	5,425,772	7,855,083	2,542,971	15,823,827	△175,403	15,648,423
セグメント利益又は損失(△)	124,056	1,119,318	△82,977	1,160,397	1,280	1,161,677

(注) 1 セグメント利益の調整額1,280千円には、のれん償却額△4,992千円、棚卸資産の調整額6,273千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。